

令和4年5月  
(2022年)  
第81号

IMARI SHIGIKAI NEWS

# 伊|万|里 市議会だより

Instagramより halu01.23さん撮影 竹の古場公園(東山代町)

## いまりで、決まり!

市議会のホームページは「伊万里市議会」  
で検索、または右のQRコードからご覧  
ください。



令和4年第2回定例会は、6月10日(金)開会予定です。

## 第1回臨時会 令和4年2月4日(金)

### 上程された議案は、すべて可決しました

#### 令和3年度一般会計予算

2月補正額	8億5,463万2,000円
予算総額	332億4,066万3,000円

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付決定に伴い、公共施設の手洗い場の自動水栓化、中小事業者等への緊急支援金支給、経営改善にチャレンジする事業者への経費補助、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給等のため、また、第94回選抜高等学校野球大会へ出場した有田工業高等学校の出場経費補助のため、増額しました。

## 第1回定例会 令和4年3月1日(火)～3月22日(火)

### 上程された議案は、すべて可決、同意および異議ない旨答申しました

#### 令和4年度一般会計当初予算総額 277億円

市長選挙の経費、翌年に行われる県議会議員選挙及び市議会議員選挙に係る準備のための経費、地域外の人材の力をまちづくりに取り込み地域の活性化を図る地域おこし協力隊の配置に要する経費、医療的なケアを必要とする子どもの保育体制の整備のための経費、若者の働く場の確保として伊万里東部工業団地に企業を誘致するために必要な活動経費等が提案され、可決しました。

本年は市長改選のため、令和4年度予算については、政策的な経費は継続的なものなど最小限にとどめられ、主に毎年の行政運営に不可欠な経費が計上されています。新規事業を含む政策的な事業については、市長選挙後の定例会で提案されます。

#### 令和3年度一般会計予算

3月補正額	19億3,407万7,000円
予算総額	351億7,474万円

マイナンバーカードを活用し、転出や転入の手続きを一元化するための住民基本台帳システムの改修に要する経費、ひとり親家庭等への医療費の助成金の追加、健康保険が適用されない不妊治療を行う夫婦への補助金等の追加、園芸農業施設等の整備への補助金及び木材加工機械の整備への補助金等の追加、国見台体育施設の改修に要する経費等のため、増額しました。

公平委員会委員の選任 原口 源嗣 氏 (木須町)

人権擁護委員候補者の推薦 江頭 清隆 氏 (大坪町)

伊万里・有田衛生組合議会議員の選出 笠原 義久 議員

## 決議案を全会一致で可決しました

### ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

#### 提案理由

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国連憲章や国際法に違反する暴挙であり、強い怒りを感じる。

これに強く抗議するとともに、日本政府に対しては、国際社会と緊密に連携し厳格な対応をとること、ウクライナに対する手厚い人道的支援と在留邦人の安全確保に全力を尽くすことを求めるため、この案を提出する。

## 議会運営委員会

### オンライン研修に対応

政務活動費を使用して研修や視察に行く場合、適正な旅費の計算や臨時会などの日程調整等のため、1週間前までに議会事務局への届け出が必要でした。

しかし、オンラインでの研修や視察の場合は旅費等は発生せず、また、当日に開催を知った際でも即日の参加が可能であり、議員の学びの機会を保障するため、令和4年度より報告書の事後提出のみで政務活動費の使用が可能になりました。

### 初めてのオンライン模擬会議

予測不能な事態に備えるため、また、社会の変革に対応するため、委員全員でオンラインでの模擬会議を行いました。

通信環境や機器の操作方法などを確認し、議会での活用の可能性について検討しました。

### お昼休みを気にせずに

一般質問をスタートする時間によっては、途中でお昼(12時)をまたぐ場合がありました。お昼の休憩を取るタイミングはその時の質問者に判断が委ねられており、概ね12時前後の区切りが良い時に休憩を取っていました。

しかしながら、質問が中途半端に途切れてしまうことや、時間が気になり質問への集中が削がれることなどのデメリットがあったため、12時を基準とせず、最後まで続けて質問を行い、終わり次第60分の休憩を取るように変更しました。

### 一般質問の方法を追加

これまで、一般質問の方法は、総括と一問一答の2種類がありました。

令和3年6月の第2回定例会より、一問一答を「併用」と「完全」の2つに分け、3種類から選べるようになりました。

#### 【例】質問が3項目ある場合

##### ①総括

[演 壇] 質問1・2・3の1問目を全て聞く

[演 壇] 質問1・2・3の1問目に全て答える

[演 壇] 質問1・2・3の2問目を全て聞く

[演 壇] 質問1・2・3の2問目に全て答える

以下、同様にまとめて質問と答弁を行う。

##### ②一問一答(併用)

[演 壇] 質問1・2・3の1問目を全て聞く

[演 壇] 質問1・2・3の1問目に全て答える

[質 問 席] 質問1の2問目を聞く

[執行部席] 質問1の2問目に答える

以下、順番に一つ一つ質問と答弁を行う。

##### ③一問一答(完全)

[演 壇] 質問1の1問目を聞く

[演 壇] 質問1の1問目に答える

[質 問 席] 質問1の2問目を聞く

[執行部席] 質問1の2問目に答える

以下、順番に一つ一つ質問と答弁を行う。

市民の皆さまに質問をより分かりやすくお伝えするため、また、質問の内容によって質問者が手法を選択しやすいよう、選択肢を増やしました。

(委員長) 樋渡 雅純 / (副委員長) 西田 晃一郎 / 盛 泰子 / 加藤 奈津実 / 力武 勝範 / 山口 恭寿 / 梶山 太

## みんなの地域創造拠点形成事業

若者に選ばれるまちづくりを進めるため、総務省の「地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）」を活用して、市民と大学生、起業家等が連携・交流を行いながら、民間企業のノウハウや若者のアイデアを取り入れる仕組みづくりを行う事業です。その仕組みの中で、6次産業ビジネスの展開など伊万里の素材を使った新商品の開発、着地型観光などの企画、新しい観光コンテンツの創出やSNSを活用したプロモーションの展開などを立案していく取り組みです。この事業を行うにあたり、全国各地で地方創生に関する事業を展開している（株）GAROOと連携し社員の派遣と運営を行ってまいります。

### 質疑

（株）GAROOからどのような人材が派遣されるのか。

### 回答

今年度から派遣されている人材は、今年3月に佐世保市にある長崎県立大学を卒業された方で、昨年度の大学コンソーシアム事業の事務局として中心的に関わってきた経験がある方です。

## 移住・定住促進事業

伊万里市への移住・定住を促進するため、移住相談会の出展ブースやポータルサイトの使用料に100万1,000円、移住奨励金については前年度の実績を踏まえ、新築の移住奨励金2件分の160万円、その他の経費を合わせ284万9,000円が計上されています。

### 質疑

（株）SUMCOの事業拡大に伴う雇用計画では、500人～600人の増員が予定されてい

るが、移住・定住促進事業の紹介はされているのか。従業員向けの奨励金制度を用意する必要があるのではないか。

### 回答

市として支援できることを協議しています。その中で移住・定住奨励金についても案内しています。従業員向けの奨励金については、当初予算には計上していませんが今後の肉付け予算で考えています。

## 防災行政無線施設管理事業

防災情報を一斉にお知らせするシステムとして、平成28年度～30年度にかけ整備した防災行政無線の適切な維持管理を行う事業です。管理事業費1,715万3,000円の予算の内、主なものは防災行政無線保守点検業務・防災行政無線戸別受信機設置業務委託料として1,426万5,000円が計上されています。前年度からの変更点として、令和4年度から通信アプリ「LINE」とも連動して防災情報の通知を行います。

### 質疑

防災行政無線を子どもたちの下校時に活用している自治体がある。伊万里市においても防犯面等から多面的な活用ができないのか。

### 回答

多面的な活用をすれば、防災行政無線からの防災情報に対しての意識が薄まるのではないかと、また、学校の下校時の活用については、学年によって時間が違い対応は難しいと考えています。豪雨時には放送内容が分かりにくい時があるが、まずは放送を聞く、気付く、自分で情報を取りに行くことが重要であると考えています。

## 子育て支援センター「ぼっぼ」の 休日保育は、大坪保育園での 実施となりました

外遊びができる施設での保育となります。  
月曜日～金曜日(祝日を除く)は、これまで通り  
市民センター内の「ぼっぼ」をご利用ください。

(大坪保育園 ☎23-2689)

(「ぼっぼ」 ☎23-5197)

## 「病後児保育室すこやか」 が移転しました

市役所向かい側にある「市民活動支援セン  
ター」の一室にリニューアルオープンしまし  
た。1歳から小学校3年生までの病気回復期  
のお子さんをお預かりします。事前の登録や  
医師の証明書などが必要ですので、ご利用の  
前にお問い合わせください。

(伊万里市役所子育て支援課 ☎23-2174)



病後児保育室すこやか

## がん患者ウィッグ・胸部補正具 購入を支援します

これまではウィッグのみへの補助でしたが、  
療養生活の質の維持向上を図るための県補助  
金の創設により、胸部補正具も補助の対象に  
なります。過去に補助を受けた方でも、年度  
ごとに上限額までの申請が可能です。

・1人あたり上限2万円

・購入経費の1/2以内

(伊万里市役所健康づくり課 ☎22-3916)

## 医療的ケア児の受け入れ 体制を整備します

医療的ケア児(たん吸引などのケアを日常  
的に必要とする子ども)の地域生活支援とし  
て、保育園・こども園・小学校への看護師派  
遣などの体制整備を行います。



## 市民図書館の資料購入費 確保を求めました

図書館の資料は、本館だけではなく、「ぶ  
っくん」の保育園、学校、企業、福祉施設、  
病院への巡回により、赤ちゃんから高齢者ま  
で幅広い年代の方に利用されています。読書  
バリアフリー法の施行により新たに揃えるべ  
き資料も多いため、今後十分な予算の確保に  
努めるよう求めました。



市民図書館

(委員長) 力武勝範 / (副委員長) 山口 常人 / 盛 泰子 / 樋渡 雅純 / 笠原 義久

## 公園遊具を安全に利用するために

### 「都市公園管理事業」「河川公園管理事業」

37か所の都市公園及び1か所の河川公園の清掃、樹木等の剪定・防除、遊具の点検・修繕などの維持管理を行います。

#### 質疑

公園遊具の使用禁止が続いているが、早急に改善すべきではないか。

#### 回答

令和4年3月までに公園遊具の安全点検を完了するが、同時に修繕が必要な遊具の修繕費について精査している。令和4年度に修繕費が確定してから、補修等の対応を行いたい。

#### 意見

都市公園管理事業及び河川公園管理事業については、現在も遊具の使用禁止が続いている。子どもたちが一日も早く安全に遊具を使って遊べるようにするため、早急な対応を図ること。

都市公園 事業費：2,930万円  
河川公園 事業費：317万円



修繕された松島公園の遊具

## 適正な道路の維持管理を

### 「道路管理事業（単独）」

老朽化した道路照明を修繕するほか、市内全域の市道の維持補修等を行います。

#### 意見

道路管理事業については、道路の維持管理について必要な事業であるため、十分な予算額を確保するよう努めること。

事業費：6,459万円

## 新たな視点とチカラで地域を活性化

### 「地域おこし協力隊事業」

人口減少や高齢化が進むなか、地域外の人材を配置し、定住や定着を図ると共に、地域支援活動により地域力の維持強化に資するために、地域おこし協力隊1名が東山代町川内野区に配置されます。

#### 質疑

地域おこし協力隊のほか、集落支援員などもこれまで各町に配置されてきているが、地域にその活動が根付くために何が必要か。

#### 回答

地域の課題解決のために何を、どうしたいのかという計画があり、地域からの協力体制が十分に整っていることが必要。そのためには、地域おこし協力隊や集落支援員の活動を広く地域住民の方々に知ってもらうということが何より重要。

事業費：164万円

## 地域交通の維持・確保

### 「コミュニティバス等運行事業」

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスの運行や、デマンドタクシーをタクシー会社へ委託し運行するほか、武雄・桃川間のコミュニティバスを武雄市との共同で運行します。

事業費：2,828万円



伊万里駅のデマンドタクシーのりば

# 公共施設調査特別委員会

令和3年第2回定例会において設置されました本委員会は、市民会館本館跡地及び周辺施設並びに市役所庁舎に絞り、これからの施設の在り方について、市内の5団体との意見交換会と15回の委員間討議を行い、いただいた意見の集約と調査を行いました。

1. 中央公民館（生涯学習センター）、歴史民俗資料館、市民会館会議棟、老人福祉センターの各施設については、必要性について検討を行い、中央公民館（生涯学習センター）と老人福祉センターは必要な施設、歴史民俗資料館は更なる施設の拡充が必要と考えました。市民会館会議棟については、他の施設での補完が可能なため、廃止しても問題がないと判断しました。

市民会館本館跡地及び周辺施設のある敷地については、今ある施設も含め、一体的に有効活用できるよう、今後検討をしてほしいと考えます。
2. 市役所庁舎については、各団体から防災の面からも現地建替えが妥当だとの意見が数多くあり、委員会としても、現在地に移転した経緯や防災機能の面、また、周辺に公的機関などが集まっており、市民の利便性を考慮した結果、現地建替えが妥当だと判断しました。
3. 今回の調査・協議の結果から委員会として5つの提言をとりまとめました。
  - (1) 市民会館本館跡地及び周辺施設のある敷地については、市民の様々な意見がある。今後のまちづくりも踏まえ、有効活用できるように十分な検討を行うこと。
  - (2) 中央公民館（生涯学習センター）、歴史民俗資料館、市民会館会議棟、老人福祉センターについては、施設の必要性、利用状況などを的確に見極め、複合化も含め各施設の集約、統合、廃止など十分に検討すること。
  - (3) 市役所庁舎の建替えについては、防災の面などから現地建替えが妥当だと考える。財政や安全、防災の観点を考慮し、また今後の人口動向や施設の規模、配置などを十分に検討すること。

伊万里・有田消防本部との複合化については、他の市町の事例も参考にして検討すること。
  - (4) 中央公民館（生涯学習センター）、歴史民俗資料館、市民会館会議棟及び老人福祉センター並びに市役所庁舎の建替えについては、広く市民の意見を求め、利用する市民へのサービスが低下しないよう配慮すること。
  - (5) 今後、市民会館本館跡地及び周辺施設並びに市役所庁舎について検討がなされていくと思うが、その経過や進捗状況については、議会と情報の共有を図ること。

委員会としては、これらの提言を踏まえ、今後の施設の再編を推進していただくことを要望しました。



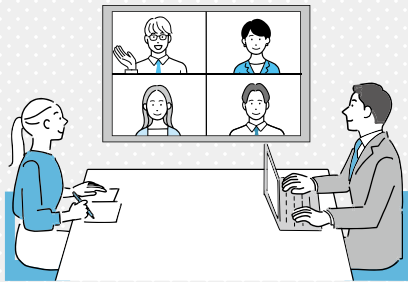
(委員長)井手 勲 / (副委員長)川田 耕一 / 山口 常人 / 前田 敏彦 / 前田 邦幸 / 笠原 義久

## 専門家との意見交換会

本委員会は、オンライン方式により、令和4年1月13日に市役所大会議室で参加者を大幅に縮小した形で専門家との意見交換会を開催しました。

専門家（廣瀬和彦氏）から議員定数の算定方式については、常任委員会の議員数を根拠とした方式、人口に比例した議員数を根拠とした方式、行政区の数に応じた議員数を根拠とした方式、類似都市の議員数を根拠とした方式など複数の算定方式が示され、その結果、適正な議員定数は21人が妥当であるというご意見をいただきました。

また、定数について最終決定を下すのは議会ですが、どのような結論になったとしても根拠をもって行うようご指摘を受けました。



## 区長会連合会との意見交換会

令和4年2月14日に区長会連合会との意見交換会を行いました。区長会連合会からは、今回の議員定数の議論の発端は議会側にあるということ、定例会や臨時会以外での議員の姿が見えないことなどについて厳しいご意見をいただきました。

また、議員定数削減についての意見としては、区長会連合会のなかでも削減に賛成、反対の両論がありました。どのような結論になったとしても委員会での十分な議論を行い、結論について市民の納得できるような理由の説明をしてほしいという意見がありました。

## 特別委員会の調査・研究

まずは県内10市の議員定数を比較しました。面積、人口、標準財政規模などについて比較しましたが、県内でも少ないほうから2～4番目と伊万里市の議員定数は少数であることがわかりました。

また、専門家との意見交換会ではアンケート調査を行いました。削減に賛成の主な意見としては、報酬を少し上げても議員定数を削減すべきという意見、議員の勉強不足、住民の意見に耳を傾けて、議会の役割を果たしてほしいという意見などがありました。一方で、削減に反対の主な意見としては、議員減になると女性はもっと立候補しにくいのではないか、定数を減らせばもっと議員活動が見えにくくなり意見が届かなくなるという意見などがありました。

2月21日の委員会で、これまでの調査・研究や意見交換会の結果を踏まえた委員会での討議を行いました。

## 委員会としての結論

### 委員会での主な意見

- 議員が少なくなるとより一層議員活動が見えにくくなる。
- 議員が少なくなると議会のチェック機能が弱まる。
- 議員が少なくなると多様な市民の声を市政に反映できなくなる。
- 市民の声を聴くためには多数の議員が必要である。

以上のことから、議会としての機能を果たす上で必要かつ適正な議員定数については、現状の21人と結論づけました。



# 一 般 質 問 (質問順)

議員名	質 問 事 項
山口 常人	<b>1. 豪雨災害の対策について</b> (1)伊万里川の対応と今後の計画 (2)治水対策 <b>2. 環境美化について</b> (1)市の取り組み状況について(不法投棄対策等) (2)プラスチックごみについて <b>3. 東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備について</b> (1)実施設計の概要は (2)地域組織との情報共有を (3)現地建替時のリスク減 (4)市長の思い
山口 恭寿	<b>1. 今後の市政課題</b> (1)今後の市政課題 (2)公約の考え方 (3)果たせなかった公約 (4)再選を目指す理由
前田 敏彦	<b>1. 環境センターについて</b> (1)資源物の処理について (2)老朽化対策について (3)作業員の労働環境について <b>2. 企業誘致について</b> (1)誘致活動の状況について (2)事務系企業の誘致先について (3)事務系企業の今後の誘致方針について
松永 孝三	<b>1. 伊万里港の整備促進について</b> (1)久原南地区臨港道路の拡幅整備 (2)久原南地区の泊地浚渫 (3)伊万里国際コンテナターミナル関連施設の早期整備 (4)伊万里港の土地利用計画の早期策定並びに長期構想の検討 (5)伊万里港整備促進についての市長の考え方
力武 勝範	<b>1. ICTを活用した教育の充実について</b> (1)タブレットの活用状況 (2)通信環境の整備 (3)自宅でのオンライン教育 (4)この後の計画 <b>2. 骨格予算について</b> (1)骨格予算の必要性 (2)事業の骨格区分 (3)今後の方向性
川田 耕一	<b>1. 情報の伝達について</b> (1)災害情報の伝達について

議員名	質 問 事 項
加藤奈津実	<b>1. 伊万里市における主権者教育について</b> (1)伊万里市長選挙及び伊万里市議会議員選挙の投票率 (2)小・中学校における主権者教育 (3)伊万里市における主権者教育 <b>2. 伊万里市の選挙について</b> (1)選挙後の振り返りについて (2)選挙におけるポスター掲示場の設置場所について
前田 邦幸	<b>1. コロナ禍における教育行政について</b> (1)教育現場におけるコロナ対策の状況 (2)タブレット授業の進捗状況について (3)教職員へのパソコン配備について (4)オンライン授業の進捗状況について <b>2. 公立保育園の民営化について</b> (1)公私連携型保育所について (2)市職員の派遣について (3)今後の計画について
盛 泰子	<b>1. 学校給食センターについて</b> (1)現状 (2)今後へ向けて <b>2. 医療的ケア児の受け入れについて</b> (1)保育園 (2)学校 <b>3. 選挙公報について</b> (1)県内各市との比較 (2)充実へ向けて
西田晃一郎	<b>1. 職員研修について</b> (1)「福祉」の定義 (2)「地域共生社会」 (3)「重層的支援体制整備事業」 (4)「SDGs」 (5)リーダーの養成 <b>2. ボランティア登録とボランティア活動保険について</b> (1)調査・研究の結果 <b>3. 「地域共生社会」と「持続可能な伊万里市」について</b> (1)実現に向けたビジョン
梶山 太	<b>1. 未来に向けた公園整備について</b> (1)現状と課題 (2)公園整備と制度の活用方法 (3)Park-PFIの活用について (4)インクルーシブ公園について <b>2. 公民連携の取り組みについて</b> (1)伊万里っ子カエル奨学プロジェクト制度の現状 (2)今後の展開について

◆市議会ホームページから一般質問の動画が視聴できます。「伊万里市議会」で検索。または、表紙のQRコードからご覧ください。

お知らせ  
議会運営委員会  
常任委員会  
特別委員会  
一般質問

## 豪雨災害の 対策について



山口 常人

**質問** 伊万里川の対応と今後の計画は。特に河口部浚渫はどうか。

**答弁** 建設農林水産部長

近年、大規模な浸水被害が発生しており、排水機場を整備する計画です。また、有田川、伊万里川は県管理の河川でありますので要望等について年次的に計画される事を強く求めて参ります。

## 環境美化について

**質問** 不法投棄の通報件数や通報への対応は。また、不法投棄への対策は。

**答弁** 市民生活部長

不法投棄には、軽いポイ捨てや悪意のあるものがあり、通報件数は令和2年度が30件、3年度が2月末時点で26件となっております。市の対策として、多発地域を中心に市内一円にわたり監視パトロールと、投棄物の回収をしています。

**質問** プラスチックごみによる海洋汚染について、生態系への影響と、市、国の取り組みは。

**答弁** 市民生活部長

近年は、この問題が地球規模で深刻化しており、海の豊かさを守るため、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減することとされています。

## 東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備

**質問** 3年度に基本設計、4年度に実施設計の計画の中で、経過と進捗状況は。

**答弁** 教育部長

現在、建設促進委員会からの意見や要望を踏まえ、設計案の見直しや修正を行ない、詳細について確認を行なっています。

**質問** 市長には機会ある度に、複合施設整備について伺ってきたが、市長の思いは。

**答弁** 市長

伊万里中学校の次は、東山代小学校の建て替え、複合施設の整備と言ってきました。  
建設促進委員会の皆様と情報の共有をさせて頂き、例のない複合施設でありますので、より良いものになりたいと思っています。

## 今後の市政課題について



山口 恭寿

**質問** 9月議会の一般質問の際に、4年間の市長公約の達成率を聞いたところ、「達成率を出すという考え方は持っていない」との答弁だった。市民と何を約束し、その約束を守れたか、守れなかったか判断できないのはおかしいのでは。

**答弁** 市長

公約の達成率を出す考えはない。しかし、4年前のリーフレットに書いた選挙公約はすべて達成している。

**質問** 達成していない公約とは具体的にどんなものがあつたのか聞かせて欲しい。

**答弁** 市長

相手があり市単独では出来ないものや、予算的な問題があり、議会の議決が必要なもの、達成出来なかった公約がある。

**質問** 道の駅をつくるというものが公約だったと思うが。

**答弁** 市長  
事業主体になるところが断ったから。

**質問** 公民館長の公募制について

**答弁** 市長

地域支援員を配置している。

**質問** 市役所庁舎の移転についてはこれまでの議論で、大規模商業施設との複合化が前提となっているが、そもそも単独でもまちなかに移転すると言っていたのでは。

**答弁** 市長

庁舎単独で移転するとは言ったことはない。あくまで、大型商業施設との複合化を目指している。

**質問** 議会の公共施設調査特別委員会が庁舎移転については現地建て替えが妥当との提言がなされたが、それを受けて市長の考えは。

**答弁** 市長

大変重く受け止めている。提言がされたばかりであり、今後、公約も含め検討して行く。

**質問** 4年前、市長は1期しか務めないとおっしゃっていたと言う方が大勢いらっしゃるのだが、それは事実か。

**答弁** 市長

そのようなことは言っていない。1期4年しっかり務めたいと言った。

## 伊万里市環境 センターについて



前田 敏彦

**質問** 資源物のリサイクルは推進していかねばならない。分別や出し方の徹底についての周知は。

**答弁** 市民生活部長

ごみ収集カレンダーを毎年3月に全戸配布、また、広報紙などで周知している。今後もなお一層の周知広報に努めていきたい。

**質問** 老朽化している環境センターの更新をどう考えているか。

**答弁** 市民生活部長

施設の更新には多額の費用を要するので、他市町との共同も視野に入れながら検討するが、当面は長寿命化を図り運営していきたい。

**質問** 環境センターで働いているシルバー人材センターの作業員さんの労働環境への対応は。又、熱中症対策としてファン付きの作業着の支給はできないのか。

**答弁** 市民生活部長

構造上、作業場には空調設備はなく、対策として大型扇風機やス

トープを設置し作業にあたってもらっている。夏場の熱中症対策として適時休憩を設け、十分な水分補給を行い作業を行ってもらっている。ファン付き作業着については、検討していきたい。

### 企業誘致について

**質問** 人口減少対策として、今後も事務系企業の誘致が必要だと考えるが、市の今後の誘致方針は。又、現在案内している受け入れ先となる民間物件は、何件あるか。

**答弁** 総合政策部長

人口減少対策の一つ、又、交流人口の創出にも繋がる。引き続き民間物件を活用し誘致を進める。

現在、オフィスとして利用しやすい民間物件2件を紹介している。

**質問** 誘致物件が少ない等の課題がある中、誘致物件の確保策として空き店舗や空き家などのリノベーションによる活用が出来ないか。

**答弁** 総合政策部長

物件の所有者や状態などの確認が必要であり、又、国・県の補助事業の活用についても考えていかなければならない。まずは関係者と意見交換を行い、シミュレーションしていききたいと考えている。

## 伊万里港の 整備促進について



松永 孝三

**質問** 伊万里港整備促進の要望活動の内容について。

**答弁** 建設農林水産部長

去る2月7日に行われた県知事への伊万里港整備促進について要望活動を行った。

①臨港道路久原線の拡幅整備について、港湾関連車両の交通量の増加により、臨港道路並びに国道204号交差点での渋滞が懸念されるため、(株)SUMCO新工場稼働前までに、臨港道路久原線の4車線化の供用を要望した。また、伊万里湾大橋からの一般車両誘導のための案内看板設置については、看板等による一般車両の臨港道路への誘導を含め、県や関連企業とも十分協議を行い、適切な対応をしていきたい。

②久原南地区泊地浚渫整備の要望の内容について、泊地の一部が、土砂等が堆積し水深が浅くなっているため、今年度より複数年にわ

たり堆積した土砂等の浚渫する事業を継続していくよう要望した。

③伊万里国際コンテナターミナル関連施設の早期整備について、

★バンプールの完成に向けた整備。  
★テナー方式による5レーン目の早期整備。ターミナル入退場ゲートの増設並びに入退場ゲートと管理棟を一体化したコンテナターミナル運営の効率化の3点について要望をあげている。

④伊万里港の土地利用計画の早期策定並びに長期構想の検討について、企業誘致活動が可能となるように、港湾計画上廃棄物処理用地から工業用地にするなど、利用計画の変更と部分竣工の手續きの検討をお願いした。また、洋上風力発電関連産業の拠点基地としての県への提案について、佐賀県知事へ早期に検討をしていただくように要望をした。

**質問** 伊万里港の整備促進についての市長の考え方。

**答弁** 市長

臨港道路4車線化を含め、4項目を山口知事に要望して参りましたが、渋滞緩和の対応を急がないといけないので臨港道路の整備を優先していきたい。

★バンプール・・・コンテナの集積・保管、受け渡しを行う場所。

★テナー方式・・・コンテナヤード内でコンテナを多段に積み重ねたりする橋形のクレーンでの作業方式。

ICTを活用した  
教育の充実

力武 勝範

**質問** 新型コロナウイルス感染症により、やむを得ず登校できない児童生徒の中には、WiFi環境やパソコンがない家庭もある。不登校児童生徒の学習支援、また自然災害等にも対応できる情報機器を活用した学校と自宅を結んだオンライン学習を行うための環境整備が必要である。今後どのように進めていくのか。

**答弁** 教育長

現在、各家庭のオンラインの状況を調査している。その結果を踏まえて、どのような対応が必要か検討していく。タブレット端末を家庭に持ち帰る際のセキュリティ上の問題、破損や紛失・盗難等の問題なども含め教育委員会やGIGAスクール実施に係る調整会議等において協議を行い、出来ることから実施していく。有事に向けてのタブレット端末の整備でもあることから、現在、課題を一つ

ずつ解決していく状況にあり、子ども達や教職員の技術的向上を図りながら、自宅でのオンライン学習ができるよう進めていきたい。

## 骨格予算の必要性について

**質問** 市長改選の年の当初予算は、骨格予算として政策的経費や交付金・補助金等を減額又は未計上とされている。減額又は未計上の事業の中には、県営負担金や市民生活に欠かせない事業も含まれている。骨格予算は必要なのか。また骨格予算に組み入れる事業の選定はどのように行っているか。

**答弁** 総合政策部長

任期が終わる市長が、自己の判断による政策的予算を当初予算に計上するのは、道理上又は選挙民の立場からしてもあまり好ましくない。また、選挙により当選した市長のもと、公約に掲げた事業を速やかに実施するためにも骨格予算とすることが必要である。選挙後の6月補正で肉付予算を計上していくので、さほど市民生活には影響はない。骨格予算の編成については総合政策部が基準に基づき編成し、これまで明文化していないものを明文化し、市民生活に影響が出ないよう改善している。

## 災害情報の伝達について



川田 耕一

**質問** 情報難民プロジェクトの概要と市の取り組みについて。

**答弁** 総務部長

2020年を目標に、主に高齢者、外国人に向けて、確実に情報を届けるための仕組みを構築するよう各自治体への取り組みを求めたもの。本市でも防災行政無線の整備や、その補完システム等を整備し、情報を届ける仕組みづくりを行ってきた。

**質問** 防災行政無線の音が聞こえない地域への取り組みと補完システムについて。

**答弁** 総務部長

市内には187箇所の防災行政無線のスピーカーがあり、聞こえないという声もあることは認識をしている。聞こえない住居に関しては、調査を行い、戸別受信機の貸し出しや、電話応答システム等の案内や他の情報伝達の方法を説明している。補完システムとして

はケーブルテレビ・登録制のあんあんメール・FAX及び電話の自動送信システム・市のホームページ等があるので、活用してほしい。

**質問** 相手に確実に伝わるような情報発信について。

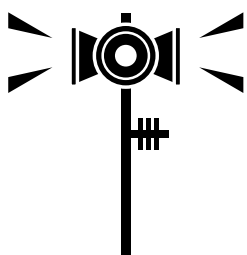
**答弁** 総務部長

市の情報だけでなく、テレビ、ネットの最新情報も取り込み、自分に合った方法で情報を取得してほしい。今後は情報機器の進化も踏まえ、様々な角度から適切に対応する必要がある。

**質問** 今後の市の取り組みについて。

**答弁** 市長

市民の命を守るため、防災減災には関係機関と共に取り組むことは重要である。また災害時には自ら情報を得ることも必要だと思つ。情報の伝達手段も今後様々に変化していくと思われ、今あるシステムを活用しながら、今後も適切に対応していきたい。



## 主体的で能動的な 主権者育成のために



加藤奈津実

**質問** 平成29年以降、学校における学習指導要領が順次改訂され、主権者教育に関する記述も大きく変わったが、小・中学校における主権者教育の現状と課題は。

**答弁** 教育長

社会や公民の授業だけでなく、学級会や委員会活動等を通して自治的な活動を体験的に学習し、中学校では生徒会選挙を通して選挙の意義や仕組みについて学び、実践的に取り組んでいる。

学習指導要領改訂のポイントは、児童生徒が主体的で対話的に学ぶ教育活動が求められていることにある。社会問題に関心を持ち、自らの問題と捉え、周囲と力を合わせて解決法を考えるような学習を行う必要があると考えている。

**質問** 学校は公共の場であるが故に、政治や選挙について教える際に公平性・中立性を保つことが難しく、先生方が躊躇される傾向に

ある。しかし、自ら学び考え判断し行動する主権者教育を行うには、政治をより具体的で身近に感じられる授業が必要と考えるが。

**答弁** 教育長

義務教育の段階からしっかりと進めるべきだと考えている。今後議場を利用することも学校には取り入れてもらいたい。学習を通して主権者として必要な資質・能力を育成し、投票率向上に留まらず、投票「質」の向上に繋がる学習ができればと考えている。

**質問** イベント等で疑似的に投票したり、市民の議論の場に議場を使用したり、選挙や議場が特別なものでなく生活の一部となることで、市民の政治参画意識は上がるかと考える。市民全体の主権者教育について、市長の考えは。

**答弁** 市長

前提として市長から独立している選挙管理委員会や教育委員会が主体的に取り組んでいる中で、私が直接取り組むことは難しい。しかし、私も市政に関心を持ってもらうために、市長とちよいカフェやいまり女性会議などを開催した。また、メディアを使って議会中継を放送することなど、主権者教育に直接繋がるかは別だが、放送・情報の大事さは感じている。

## コロナ禍における 教育行政について



前田 邦幸

**質問** 伊万里市の小中学校において新型コロナウイルス感染症の感染者が増加する中、教育委員会として各学校に対して、どのような指導、注意喚起をしているか。

**答弁** 教育長

1月に感染拡大防止の為に臨時校長会を開催し、マスク着用や換気の徹底、留守家庭児童クラブとの連携、文部科学省からの通達の共有、学校間連携など今出来ることをしている。また家庭へは不要不急の外出自粛をお願いすると共に体調が少しでも悪いことが有れば登校を控える様に呼びかけた。検査をする際は、学校に連絡をお願いしている。

**質問** 教職員へのパソコン配備について、指導する先生方に使える機能を有するパソコンの配備が遅れていると聞か。

**答弁** 教育部長

現在、年次的にパソコン配備を

しているが、皆さんには行き渡っていない。令和4年度中には配備を完了させたいと考えている。

## 公立保育園の民営化について

**質問** 伊万里市の公私連携保育所は他市と違うと思うが、伊万里市公私連携保育所の説明を。

**答弁** 健康福祉部長

児童福祉法の規定に基づき、3運営法人と民営化の協定を締結し、それぞれに公私連携保育法人に指定した。協定内容は法律で定められた項目であり、他市との違いはない。4月1日から民営化がスムーズに行くよう、保育士の派遣や三者会議を4月以降も継続し、法人に対して一任ではなく、積極的に市が関与して行く。

**質問** 公私連携型保育所として継続する期間はいつまで。

**答弁** 健康福祉部長

民間譲渡後5年間の令和9年3月31日まで。

**質問** 伊万里市では他市とは違い、市職保育士を派遣する事になつていますが、何年か。

**答弁** 健康福祉部長

法律で原則3年間と規定されているため、最大3年間の派遣を予定している。

給食センターの  
現状と課題

盛 泰子

**質問** ①平成18年にオープンした学校給食センターは、15年が経過し、老朽化が進んでいる。施設や設備を維持するための適正な維持管理に掛かっている費用は。②現状について、どう考えているか。③今後へ向けて。

**答弁** ①②教育部長、③市長

①過去5年間、毎年1千万円前後の維持管理経費が掛かっている。②建設時には高性能の機器を整備したが、毎日の給食を調理する中で負荷の高いボイラーの本体や蒸気管などの付帯設備から劣化が進んでおり頻繁なメンテナンスが必要に。最近では厨房施設の更新時期を迎えており電気部品の故障で、給食の提供を危惧する事案も増えている。調理員への負担も年々大きくなり、対症療法での維持管理も難しくなっている。近いうちに大規模改修を行うよう、計画を進めている。③ほとん

どの厨房設備やボイラー、空調などの機械設備などが更新時期を迎えており更新を考えている。不具合が出てからではなく、計画的に進めたい。その際には現在の施設ではできなかった食物アレルギーへの対応も検討したい。

## 医療的ケア児への対応

**質問** 保育園、学校での受入れ状況は。

**答弁** ①健康福祉部長、②教育長

①市内の保育施設では以前から入園相談があったが安全に受け入れるためのガイドラインが無く、受け入れが出来ていなかった。法律の施行とガイドラインの策定により、令和4年1月から2保育園で2名を受け入れている。4年度当初予算には受け入れのための看護業務委託料などを計上しており、個別のケアマニュアル等を小学校へ引き継ぎ連携をとる。②令和3年度は2名、令和4年度は3名。当初予算で看護師派遣の委託料を計上している。保護者との協議や医療機関の専門的な意見を参考に準備を進め受け入れ体制を整えていきたい。



## 職員研修について



西田晃一郎

**質問** 「地域共生社会」と「重層的支援体制整備事業」について。

**答弁** 健康福祉部長

市職員全体での研修は行っていない。部内の職員が受講している。第4次地域福祉計画にも地域共生社会を目指した取り組みを盛り込んでいるので、今後は市役所全体で意識づけを図っていくため研修を検討したい。

**質問** 「SDGs」について。

**答弁** 総合政策部長

意識づけは行っているが、研修は行っていないので、研修会も検討するなど、推進に向けた取り組みを検討したい。

**質問** リーダーの養成は。

**答弁** 総務部長

コーディネート能力だけを目的とせず、コミュニケーションやファシリテーション、職員の階層別研修を行っている。

市民活動支援センター  
での手続き

**質問** 登録様式と保険について。

**答弁** 市民生活部長

ボランティア団体と市民活動団体の登録様式の統一は、記載する内容が異なるため難しいと判断した。また、ボランティア活動保険の取り扱い、手続き上の課題がありボランティアセンター(社協)のみで行うが、加入の周知は行う。

## 「地域共生社会」と「持続可能な伊万里市」について

**質問** 実現に向けたビジョンは。

**答弁** 市長

人づくり組織づくりをいかに進めていくべきか、しっかりと議論し考えていく必要がある。

まず、健康福祉部内できちまっている研修については全庁的に行うと共に、知識や経験豊富なコーディネーターを行うリーダー存在を官民間わず養成することも重要であると考えている。

複雑化・多様化する社会や市民ニーズに応えるためにも、市民の皆さまや事業者、関係団体の皆さまと、行政が横断的に連携することが重要だと考えている。

## 未来に向けた 公園整備



梶山 太

**質問** 平成29年に都市公園法の改正で創設された「Park-PIF」制度がある。この制度を活用し、収益の一部を公園整備費に充て、市の財政負担の軽減を図っている公園の数は。

**答弁** 建設農林水産部長

令和2年7月1日時点での国土交通省の調査では、この制度を活用した公園は、自治体で46公園、地方整備局で2公園の合計48公園となっており、そのうち16公園が供用されている。

**質問** インクルーシブ公園とはどのようなものか。

**答弁** 建設農林水産部長

インクルーシブ公園とは障がいの有無にかかわらず、誰もがみんなと一緒に遊べるように設計された公園である。例えば、敷地内に段差がなく車椅子やベビーカーの移動が容易であり、遊具の高さを抑え、体が不自由な子どもでもけ

が心配がない等の配慮がされている。

**質問** インクルーシブ公園の整備についての考え。

**答弁** 市長

インクルーシブ公園については、費用も掛かるので、「Park-PIF」制度等の調査研究が必要と感じている。

## 伊万里っ子カエル奨学 プロジェクト

**質問** 制度の課題をどう考えているか。

**答弁** 健康福祉部長

周知については、チラシを伊万里看護学校、市内の高等学校や保育所に配布し、希望者には説明会を行った。しかし、相談や申し込みが少ない状況にある。准看護師については、佐賀県や日本学生支援機構等の制度を活用されていると思われる。

**質問** 今後の展開は。

**答弁** 市長

制度設計については、私もいろいろ考えた。この制度が令和3年4月からの創設であるので、今後の推移を見守りたいと考えている。今後は、議員の皆さんからも提案をいただきたいと思っている。

## 編集後記

早いもので私たち市議会議員の任期もあと一年を切りました。残された任期を全うすべく、全議員一丸となって問題解決に取り組んでまいります。

政治の世界は市民からすると遠い存在なのかも知れませんが、実は身近であることを、私は議員になって初めて感じました。困っていること、解決してほしい行政の問題点など、ぜひ気軽に議員にご相談いただきたいと思います。

選挙は私たちの暮らしを良くしてくれる人を選ぶことのできる、国民に与えられた権利です。皆さんの意識が変わらないと世の中は変わりません。皆さんの思いを一票に込めて、ぜひ投票に行ってくださいと思います。

川田耕一

### 広報広聴委員会

(委員長) 加藤 奈津実  
(副委員長) 西田 晃一郎  
盛 泰子 川田 耕一  
山口 常人 中山 光義  
前田 敏彦

(発行・ご意見)

伊万里市議会  
伊万里市立花町1 3 5 5-1  
TEL 0955-23-2594  
FAX 0955-22-1277  
E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

(編集) 広報広聴委員会

(印刷) 株式会社エーワン



## 伊万里市議会でのできごと

令和4年第1回定例会において、新年度の当初予算が提案され、全会一致で可決しました。

### 当初予算って何ですか？



当初予算とは、一会計年度を通じて定められる**基本的な予算**のことです。

#### Q. 誰が作るの？

A. 市役所全体で作られ、市長が議会に提案します。

#### Q. いつまでに作るの？

A. 市町村では年度開始前20日まで※に議会に提出し、前の会計年度が終わる3月31日までに議会の議決を得なければなりません。

※都道府県及び指定都市は30日まで

#### Q. 災害など予想外の事由で急遽、予算が必要になった時はどうするの？

A. **補正予算**が提案されます。



### 補正予算って何ですか？



補正予算とは、年度の途中に発生した事由により当初予算を**増額または減額する予算**のことです。

#### Q. いつでも提案できるの？

A. 年4回開催される市議会の定例会で提案されるか、緊急の場合は臨時会が開かれます。

#### Q. 年度途中で増額したり減額したりできるのなら、当初予算に全てを計上しなくてもよいのでは？

A. 補正予算を提案できるのは「予算の調製後に生じた事由に基づいて、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたとき」（地方自治法第218条）と定められていますので、特別な理由がない限り、年度当初に分かっているものは全て当初予算に計上すべきと考えられています。



## ワンポイント

当初予算が新年度開始前に議決されない時は、本予算が成立するまでの間に行政が中断し市民が不利益を被ることを防ぐために、必要最低限の経費が計上される**暫定予算**が編成されます。



## ご意見お聞かせください！

伊万里市議会では、市民のみなさまからのご意見を常に募集しております。議会だよりの感想、ケーブルテレビで放送される内容について、議会全体に関すること、何でも結構ですので、以下のメールアドレスまで是非ご意見をお寄せください。

[gikai@city.imari.lg.jp](mailto:gikai@city.imari.lg.jp)

